

健康 ぷらざ

目や口が渇きませんか

—シェーグレン症候群—

指導：聖ヨゼフ病院 院長

市川 陽一

企画：
日本医師会

No.109

涙や唾液が出にくくなる病気です

シェーグレン症候群は中年以降の女性に多くみられる病気で、“目の乾き”と“口の渇き”が主な症状です。涙腺、唾液腺に慢性の炎症をきたす自己免疫疾患で、涙液と唾液の分泌が減少する病気です。

そのまま放置しないで

“目の乾き”を放置すると、乾燥性角結膜炎を起こして異物感のほか、目が赤くなったり、痛くなったりします。視力が低下することもあり、角膜潰瘍から失明にいたることすらあります。“口の渇き”も口の中の乾燥による不快感のほか、ビスケットやパンなどを食べにくくなったり、乾燥が原因で口の中が張りつくために、会話を長く続けることができなくなります。そして、口の中の衛生が保たれないので虫歯が多いのも特徴です。



治療と予防の ところかけ

“目の乾き”には目薬（人工涙液）を何度も使って、角膜や結膜の乾燥を防ぐことが必要です。“口の渇き”にはペットボトルの水などを近くに置き、少しずつ飲んで口の中を湿らせ、清潔に保つことが大事です。最近では唾液の分泌を増やす薬もあります。

また、シェーグレン症候群は全身性の病気を伴うこともあり、慢性関節リウマチなどほかの自己免疫疾患を合併することがあるので注意が必要です。“目の乾き”や“口の渇き”が気になる人はかかりつけ医に相談してみましょう。

※シェーグレン症候群：1933年にスウェーデンの眼科医シェーグレンが発表した論文にちなんで名づけられた疾患です。

◆待合室等に掲示し、患者さんにお見せください。